

様式第9号 (第21条、第22条関係)

自動車管理計画書 (変更計画書)

令和3年7月31日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所 滋賀県栗東市伊勢落720

氏名 ヤマト運輸株式会社 滋賀主管支店

主管支店長 小比賀 正規

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 [第38条第3項において準用する同条例第20条第3項・第38条第3項
第40条第1項 第40条第2項において読み替えて準用する同条例第
38条第3項において読み替えて準用する同条例第20条第4項
第40条第1項 第40条第2項において読み替えて準用する同条例第
38条第3項において読み替えて準用する同条例第20条第4項]の規定に基づき、自動車管理計画を策定 (変更) し
たので、提出します。

1 事業者に関する事項

事業者の氏名 (法人にあっては、 名称および代表者の氏名)	ヤマト運輸株式会社 代表取締役社長 長尾 裕
事業者の住所 (法人にあっては、 主たる事務所の所在地)	東京都中央区銀座二丁目16番10号
県内事業所数	32 事業所
県内自動車使用台数	506 台

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第 3 号

(第 1 面)

1 計画期間

計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度
------	-------------------

2 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本的な方針

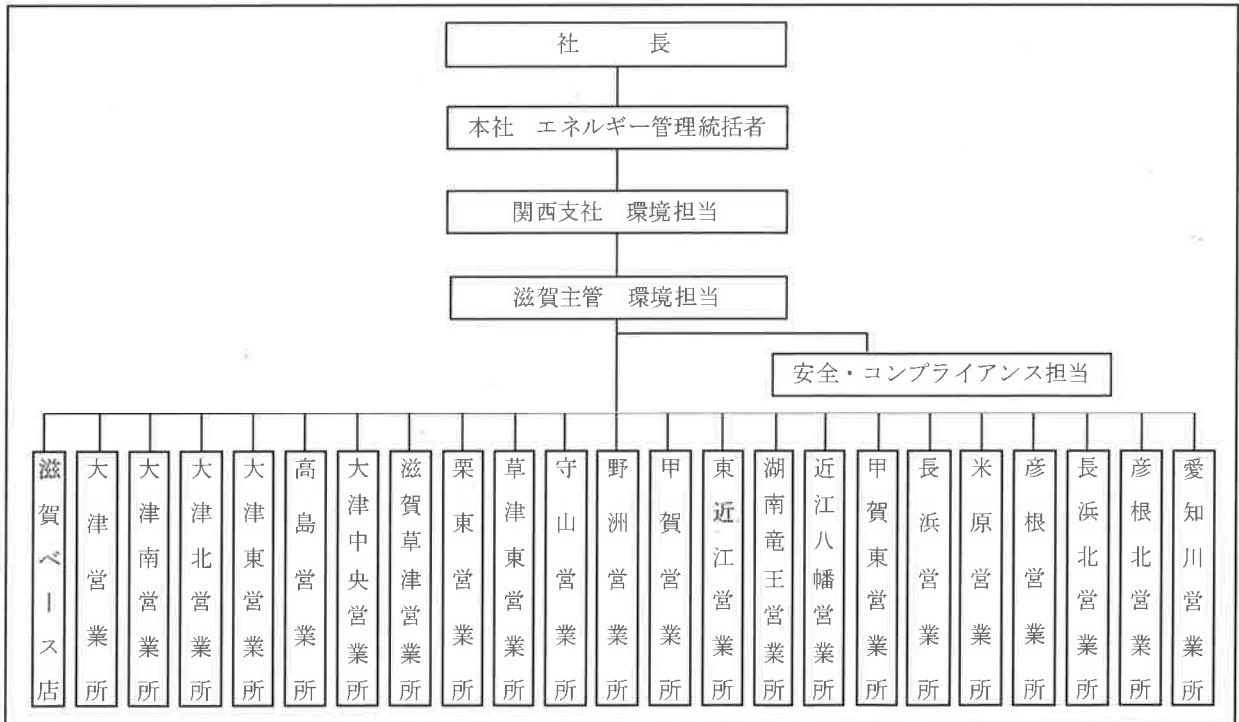
わたしたちヤマトグループは、企業の社会的責任である環境保護活動を「ネコロジー」と総称し、環境を意識した事業活動とともに、社員一人ひとりが常に環境保護の意識を持って、日々の各業務に取り組みます。
 輸送の「包む」「運ぶ」「届ける」はもちろんのこと、その他のさまざまな取り組みを徹底的にエコロジー化して、環境にやさしい物流の仕組みを築きます。
 このような商品・サービスの提供を通じ、地域と共によりよい社会作りに貢献する企業を目指します。

輸送のエコ

「環境にこだわった輸送を実現します」

- ・社員一人ひとりが、日々エコドライブを実践します。
- ・低公害車の導入や台車、新スリーターなどを使った集配により、CO2 などの排出ガスを削減するとともに、汚染の低減を図ります。
- ・他社との共同運行や電車、船などを使ったモーダルシフトの推進により、輸送の効率化を図ります。

3 推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の抑制に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標		実施スケジュール	
		現状	目標		
自動車使用の合理化	宅急便 1 個当たりの CO2 排出量 (原単位 CO2 排出量) の削減を図る	原単位 CO2 排出量	R2 年度実績 217 g	195 g (2020 年度比 90.0%)	R3~R5
より温室効果ガスの排出量が少ない自動車の導入	最新排ガス規制適合車の導入 (ポスト新長期規制)	導入台数	R3.3 現在 227 台	300 台	R3~R5
	外付けバッテリー型モバイル冷凍機 Mobico(モビコ)を集配車両へ導入・搭載し、使用燃料削減を図る		R3.3 月現在 3 台	18 台	
従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガスの排出抑制に関する教育	安全・エコナビゲーション (Neco-Assi) から出力される運転日報を活用し、アイドリングならびに急動作 (急発進・急加速・急減速) 等の確認及び指導を行う	30 分以上のアイドリング発生回数 (稼働数に対する発生比率)	R2 年度全稼働比 3.8%	全稼働比 2.5%以下	R3~R5
その他	安全・エコナビゲーション (Neco-Assi) を軽自動車を含む全集配車両に搭載	搭載台数	R3.3 月現在全集配車両に搭載	全集配車への搭載徹底	R3~R5
	アイドリングによる車載冷凍・冷蔵庫の予冷を無くす為、サブバッテリー・スタンバイユニット搭載車の導入	スタンバイユニット搭載車	R3.3 現在 268 台	300 台	R3~R5
		サブバッテリー搭載車	R3.3 現在 144 台	180 台	R3~R5

備考 現状や目標については、内容に応じ文章で表現しても構いません。